



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

迎春



患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九労ハロー

Kyuro Hello!

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2022 January vol.89

謹んで新春のお慶びを申し上げます



院長
岩本 幸英

皆様、明けましておめでとうございます。昨年もなかなか新型コロナウイルスのパンデミックが終息せず、一昨年に引き続き世界中がコロナ対策に追われた1年でした。わが国では夏に東京オリンピックが開催され、大きな感染爆発に繋がるのではないかと心配でしたが、幸い無観客開催などの感染対策が功を奏し乗り切ることができました。コロナは第6波襲来の可能性もあり、まだまだ予断を許しませんが、備えあれば憂いなし、普段から十分な感染予防対策と医療提供体制の整備を行っておくことが大切だと思います。当院としては、地域のコロナ対策に全面協力しつつ、本来の責務である地域の急性期医療を担う基幹病院としての役割を果たして行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 地域連携：「患者サポートセンター」の活動

当院は、すべての診療科が連携医療機関の皆様との連携のもと、地域住民の皆様への期待に応じて参ります。地域連携のお役に立つための「患者サポートセンター」は、4つの部門（地域連携部門、患者相談窓口、入院支援部門、社会福祉部門）より構成されており、各部門に機能を充実させております。今後も、「患者サポートセンター」を通じ、皆様と緊密な連携を行いたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

■ がん診療の強化：「地域がん診療連携拠点病院」としての活動

従来、当院のがん診療を担ってきた内科、外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科等に加え、2016年に整形外科内部に骨軟部腫瘍外科、2017年に放射線治療科を新設、さらに2019年に外来化学療法室の拡張を行うなど、がん診療の強化に努めてまいりました。また、2019年には歯科口腔外科を開設し、がん患者の周術期口腔ケア管理も行えるようにしました。以上の取り組みの結果、当院のがん患者は次第に増加し、2020年には地域がん診療連携拠点病院の認定を受けました。今後、さらなるがん診療の充実を図りたいと思っております。

■ 救急・災害医療体制の充実

当院は、救急医療に力を入れています。一刻を争う脳卒中や心筋梗塞の治療では、救急隊と緊密な連携を構築し、24時間体制で早期治療に当たっています。また、当院の整形外科は充実しており、骨折をはじめとする外傷に対し、高度な専門的治療を提供しています。九労は今後さらに救急医療体制の充実を図ります。また当院は、2016年以来災害拠点病院に認定されております。今後、予測不能な大災害に適宜対応し、地域の皆様の期待に応えていきたいと存じます。

■ 勤労者医療の充実

地域の基幹病院としての役割に加え、勤労者医療の充実も、当院のもう一つの大きな使命です。従来どおり労働関連の疾患の治療と健診、勤労者のメンタルヘルスケア、生活習慣病の予防・治療、脳卒中などの職場復帰支援に取り組む一方、がん患者等の就労・職場復帰支援にも積極的に取り組んでおります。

当院が今後も地域の皆様に「安全で良質な医療」を提供し続けていくためには、地域の先生方との連携をさらに緊密にする必要があります。皆様のより一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。



泌尿器科

泌尿器科科長 梅津 大輔

3人体制で頑張っています！

現在、泌尿器科は中島信能副院長、梅津大輔泌尿器科科長、守屋良介泌尿器科医師の3人体制で、外来、手術、特殊検査を安全かつ確実に行っております。迅速で正確な診断、治療をモットーとして、診断に必要な検査はなるべく1日で済ませるよう心がけております。

「泌尿器科」と聞くと、きっと敬遠される患者さんも多いかと思います。特に女性の方は、排尿に関する悩みを持たれている方も多いと思われそうですが、「泌尿器科」受診となると二の足を踏む方が多いようです。連携医療機関の先生方におかれましては、そのような方がいらっしゃいましたら、背中をそっと押ししていただけましたら幸いです。



梅津科長

中島副院長

守屋医師

高齢化社会とともに増える泌尿器疾患

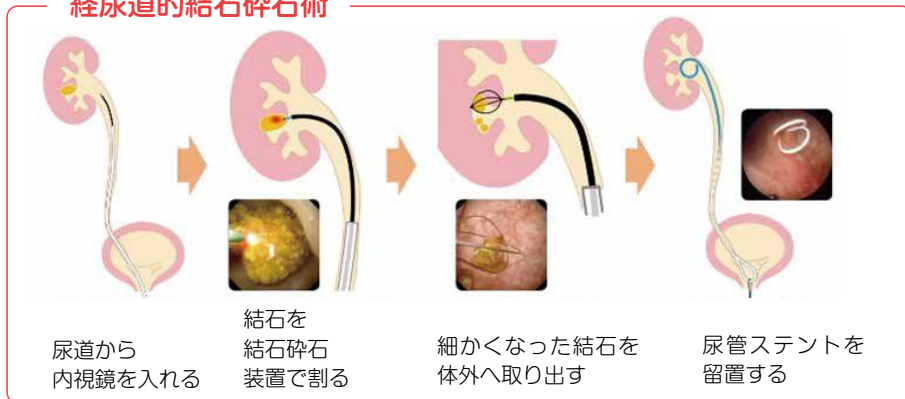
当科では、副腎・尿路性器腫瘍（腎臓がん・尿管がん・膀胱がん・前立腺がん・精巣がんなど）の治療を行っております。また、前立腺肥大症・過活動膀胱・尿失禁・ED（勃起障害）などのいわゆる QOL 疾患に対しても検査・治療を行っております。これら泌尿器科疾患の診断・治療法は多様化してきております。患者さんのご要望を十分に聞き入れて、個人個人に適した検査・治療を決定し、安全・正確な医療をご提供するように心がけております。

腎尿管結石の治療

当科では、尿路結石に対する治療として体外衝撃波結石碎石術（ESWL）と経尿道的結石碎石術（TUL）を行っております。ESWL は入院が不要な日帰り手術で、体への負担が少ないのが特徴です。TUL は尿管鏡とレーザーを用いて結石を破砕・抽石する方法で、4-5 日間程度の入院が必要です。結石の病状や、患者さんのご要望を踏まえてこれら治療法の選択を行っております。

このような一般的な尿路疾患はもとより、泌尿器救急疾患にも十分対応できる体制をとっております。近隣の先生方、地域の皆さまのご要望やご期待に沿えるよう、今後も研鑽に励む所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

経尿道的結石碎石術



▲体外衝撃波結石破砕装置

ナースのスペシャリスト

6東病棟看護師長補佐・老人看護専門看護師

廣渡 大輔



昨年度に老人看護専門看護師の認定を受けることができました。老人看護専門看護師は、高齢者が入院・入所・利用する施設・地域において認知症や嚥下障害などをはじめとする複雑な健康問題を抱える高齢者の生活の質（QOL）を向上させるために水準の高い看護を提供する専門の看護師です。現在、消化器センター病棟の病棟師長補佐の役割を兼任し、スタッフと共に高齢者とそのご家族に対して、医学的な視点に加えて、生活の視点を大切にしたり寄り添った看護が提供できるように心がけています。一人ひとりの価値観や生き方を尊重し、療養生活が整えられるようにお手伝いができればと思います。加えて、高齢者とそのご家族だけでなく、地域の特徴や支援、サービス体制をアセスメントし、地域の方々と協働し、それぞれの役割が同じ方向に向かってシームレスなケアが継続できるような調整を目指しています。また、地域の方々に向けた高齢者の身体的な特徴や、認知症、せん妄、嚥下障害、アドバンスケアプランニング等に関する出張学習会なども行ってまいりますので、皆様と一緒に考えることができる機会をいただけますと幸いです。いつでもお声かけをよろしくお願いたします。

看護セミナー IN 九州労災病院 2021.11.19

第13回

無事に開催できました！

地域医療連携看護セミナー

地域の9事業所から看護師・ケアマネージャーの参加がありました。大変お忙しい中、御参加ありがとうございました。

第1部は、がん患者さんを地域で一緒に見た事例の振り返りを行いました。地域に繋いだ後の事を、訪問看護師の方々から教えて頂き、繋がることの大切さを改めて感じました。会場一体が感動と感謝の気持ちでいっぱいになり、会場は涙涙…でした。

第2部は座談会でした。日頃からの私共からの感謝の気持ちをお伝えするとともに、今後のより良い連携に向けての交流となりました。

コロナ禍が落ち着けば、このような顔の見える連携会を又、行っていきたいと考えています。今後も地域の方と繋がり、切れ目のない入退院支援に努めてまいります。

地域の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

患者サポートセンター
副センター長・入退院支援担当師長 **樋渡 英子**



令和3年度

優秀な研究者に対する表彰



「前十字靭帯損傷膝におけるRamp lesionの発生頻度と臨床的特徴」の研究で、田代泰隆スポーツ整形外科部長が優秀賞を受賞しました。

◀スポーツ整形外科部長
田代 泰隆

これからも
がんばります！



九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1
TEL 093-471-1121 (代表)
ホームページ
<http://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

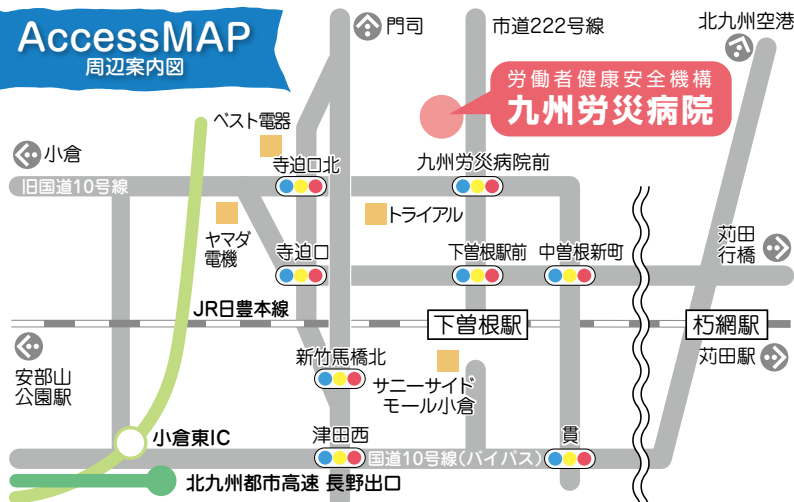
センター長	副院長	中島 信能
副センター長	看護師長	樋渡 英子
	医事課長	三浦 靖幸
入退院支援部門	看護師	岩崎 玲奈 / 佐々木 香代
		中村 美喜 / 上田 清香 / 上原 敦子
		河本 純子 / 水上 恭子
社会福祉部門	M S W	坂出 友美 / 竹中 芳美 / 鈴木 幸
地域連携部門	事務	武久 亜紀子 / 小笠原紗彩乃
		黒田 早苗 / 西山 淳子 / 迫 やよい

お問い合わせ先

入退院支援部門 社会福祉部門	代表電話	093-471-1121
地域連携部門	直通電話	093-475-9686
共通	F A X	093-473-5903
	E-mail	renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP

周辺案内図



診療案内

受付時間	午前8時15分～午前11時
救急受付	急患は24時間随時受け付けます
診療時間	午前8時45分～午後5時15分
休診日	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
初診時 選定療養費	5,500円 診療情報提供書のご持参を お願いしております